

関係各位

沖縄県 土木建築部 港湾課

## 中城湾港(新港地区)における 定期船就航に向けた実証実験の開始について

### ○ 実証実験の目的

中城湾港は、沖縄県の産業振興・雇用の創出に向け、流通機能・生産機能を併せ持った流通加工港湾を目指し、港湾施設や工業用地の整備を進めて参りました。平成23年9月時点で144社の企業が中城湾港新港地区に立地しており、沖縄県の産業を支える重要な役割をはたしております。しかしながら、東ふ頭が供用していないこともあり、現在、中城湾港新港地区には定期船が就航していない状況にあります。新港地区背後に立地する企業が新港地区を利用することは、輸送コストの低減効果や時間短縮効果が期待できると考えております。

ついては、この実証実験により中城湾港新港地区に定期航路を開設し、効果や課題の検証を行い、定期船の就航と利便性の向上を図り、背後圏に立地する企業を含めた地域の活性化に取り組むことを目的としています。

### ○ 実証実験の検証

定期船就航の実証実験を通して、中城湾港新港地区を利用することによる輸送コストの低減効果や時間短縮効果について検証を行うとともに、各関係者（荷主・船会社・港運会社・港湾管理者・国・市）における課題の把握と対応策を具体的に検証します。

### ○ 実証実験の概要

- ① 実験航路： **志布志港→鹿兒島港(谷山地区)→那覇港→中城湾港(新港地区)→志布志港**
- ② 実験開始日 志布志港発 → 中城湾港新港地区着 → 中城湾港新港地区発 志布志港行き
- ③ 定期スケジュール： (金曜日)志布志港発 (月曜日)中城湾港着 の**週1回定期**
- ④ 協力船会社： 南日本汽船(株)
- ⑤ 就航船概要： 総トン数 499GT級 積載重量トン数 1,500~1,600DWT  
りゅうなんⅡ、第八盛山丸、優昭丸が交互に寄港

船社の選定にあたっては、幅広くヒアリング調査を行い、実証実験への関心が高く、実験規模に応じた自社船の配船ができる船社に協力をお願いしました。

### ○ 中城湾港(新港地区)利用促進連絡会の開催

定期船就航実証実験を実施するにあたり、実証実験の内容・工程及び今後の航路拡充案(博多港・大阪港等)を関係者に説明します。

<利用促進連絡会の開催日時>

開催日 : 平成23年11月15日(火)  
 開催時間 : 14:00~16:00  
 開催場所 : 沖縄県 工業技術センター 講堂  
 (うるま市字州崎12番2号・・・新港地区内)



### ○ 初入港セレモニーの開催

開催日時 : 平成23年11月21日(月)  
 開催時間 : 15:00予定(着岸予定時間)  
 開催場所 : 中城湾港(新港地区) 西ふ頭 (-7.5m)岸壁予定  
 (別紙略図参照)

**[問い合わせ]**  
 沖縄県 土木建築部 港湾課  
 計画調査班 田原・仲  
 TEL 866-2395

注) 入港セレモニーに参加希望の社におきましては、ゲートパスが必要なため、①社名 ②氏名 ③使用する車の車両番号を11月17日(木) 17:00までに報告をお願いします。

○ 主催： 沖縄県 共催： 沖縄総合事務局 うるま市 沖縄市